

記入例

別記様式第1号（第3条関係）

（表面）

事業系一般廃棄物の減量、再資源化等に関する計画書

令和〇〇年 月

（宛先）和歌山市長

住 所 和歌山市七番丁23番地

提出者

氏 名 和歌山市商店（株）

代表取締役 和歌山市太郎

この計画書は、和歌山市内の店舗についてのみ記入していただくものであり、店舗ごとに一枚ずつ記入してください。

（法人にあつては主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

電話番号 073-435-1352

担当者氏名 管理課 和歌山市次郎

和歌山
一般廃棄物

排出場所の管理担当者の所属、氏名及び電話番号を記入してください。

する規則第3条第1号の
を作成しましたので提出

店舗ごとの名称及び所在地（排出場所住所）を記入してください。

事業所の名称	和歌山市スーパー 和歌山中央店		
事業所の所在地	七番丁23番地 和歌山市役所6階		
業種	小売業（スーパーマーケット）		
保管場所	廃棄物の種類	面積	設置場所
	処分されるもの	〇〇〇㎡	
	再資源化されるもの	〇〇〇㎡	
減量、再資源化及び適正な処理に関する計画	今年度計画していること	現在実施していること	
	<ul style="list-style-type: none">古紙、缶、空き瓶、ペットボトルの分別・再資源化食品廃棄物（肉くず、魚あら）の分別・再資源化牛乳パックの店頭回収・再資源化 （店頭回収・再資源化量〇〇kg）通い箱の拡大 （前年度〇〇ケース→今年度〇〇ケース）今年度新規取組生ごみ処理機の導入 （生ごみ〇〇トン→〇〇トンに減量化）事務部署でのシュレッダー紙の分別・再資源化	<ul style="list-style-type: none">古紙、缶、空き瓶、ペットボトルの分別・再資源化食品廃棄物（肉くず、魚あら）の分別・再資源化牛乳パックの店頭回収・再資源化 （店頭回収・再資源化量〇〇〇kg）通い箱の拡大 （前年度〇〇〇ケース→今年度〇〇〇ケース）	

箇条書きでも文章でもかまいませんので、具体的に取組を記入してください。目標値や実績値がある場合には、できるだけ数値を記入してください。

(裏面)

焼却等で処理されたもの(リサイクルされなかったもの)の重量を記入してください。

		前年度の排出量		
処分されるもの (A)		800	700	
再資源化されるもの	古紙	段ボール	350	350
		雑誌等	100	100
		シュレッダー	0	10
		牛乳パック	300	300
	計	750	760	
	食品廃棄物	魚あら	80	100
		肉くず		
		缶	50	50
		空き瓶	50	50
		ペットボトル	110	200
計	(B)	1,110	1,260	
総排出量 (A + B)		1,910	1,960	

リサイクルするために分別したものについて、貴社での分別名称を記入するとともに、その重量を記入してください。

再資源化されるものの種類	再資源化事業者名	所在地	
古紙	(株)〇〇紙業	和歌山市一番丁1	
食品廃棄物	(株)〇〇		
缶	〇〇		
ペットボトル	〇〇		
空き瓶	〇〇商會(株) 和歌山	和歌山市一番丁5	
再資源化率(%)	前々年度 58.1	前年度 58.1	今年度(計画) 64.3
再資源化率の主な増減理由	前々年度から前年度にかけては、分別品目を変更しておらず、再資源化率の増減は少なかった。		
再資源化に関する今後の取組計画	今年度は、食品廃棄物の分別を強化、事務所で生じるシュレッダー紙を新たに分別・再資源化することで、再資源化率の向上を目指す。		

再資源化率(リサイクル率)は、上記表の数値を次の計算式に入力して算出してください。

$$\text{リサイクル率} = \text{再資源化されたもの(B)} \div \text{総排出量(A+B)} \times 100$$

前年度実績の自己評価

前年度は、排出量が増加したものの、売上げあたりのごみ量は減少しており、一定の評価ができる。

リサイクル率については、特に分別・再資源化の取組を強化しなかったことから、横ばいであった。今年度は前述のとおり分別品目を増やして再資源化率の向上に努めたい。

どのような取り組みが減量に大きく働いたか、減量できなかった場合、どのような理由が考えられるか等、評価を記入してください。